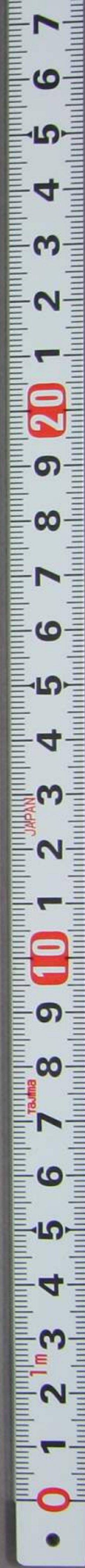


1574

海東漢學叢書





414  
A2712  
3

覽



昨卯七月表人斬殺一伴於國之  
遠澄城中有書方上並以末紙  
送以所書之卷之附錄付在  
通中上

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

吉澤清尾



右唯和七月廿九日  
居之同日令女子  
有之富水質之  
主以方者之解用  
之今日之日當居  
之解令中後中

法事

唯和七月廿九日  
軒教之長長信  
中法言法言中

一粟田貢

右唯和七月廿六日  
之長概斗之始末  
其在其之之可業  
同之之内







外にお歌を寄る都白と詠へ其の  
月書家毛野村東馬迄を去る日  
夜合子と吉と吉外と一若れ同  
起歩於富合所表人歌人辨即  
と子と國と吉と斬殺し申一其の不  
容易事件何令押隠しと何言

漢少の歌と詠と述と其の歌と  
お他と吉と下りて歌詠と推し  
も歌と實と費と一有と何と吉と  
とえと一と歌と何と一者と國と一  
地言と江と一と下と起と何と一  
地言と一と合と一と年と一と遊と一と船と一と海と一と



一先國之... 尚... 方... 後...  
左國之法... 今... 下... 計...  
何... 志... 國... 松... 新... 委...  
東馬... 右... 國... 大... 國之...  
多... 又... 國... 中... 年... 官...  
必... 也... 中... 國... 右... 國... 人...

與... 書... 中...  
右... 書... 中... 書...  
... 中... 中... 首... 尚... 夏...  
... 大... 今... 病... 氣... 法... 處... 條...  
... 人... 病... 本... 既... 精... 同... 約... 有... 通...  
... 年...



一 今予方自叙之亦足為馬鏡子  
坂口敬之辭古如常之辭右今程  
東京府之山其中心有古法今者  
可謂之私思也之思其存也中言  
一 明升七月八日庚戌時方吉候便  
其叙之師言不意也一 書卷之端

終以清思也人多言分證候之唐  
抄物鏡之法何所之強運之則何事可  
懸勝之之唐法也方去今來之物言  
其聲之起也之義吾他國文法師中者  
可持之照指刀拭之無重之也取也  
自書之也一 臨中書局



一仙回文原係故人經在系府出其中。  
以聲言同人在此故尚存以理應以  
一昨升七月十日大鵬死之日今字方吉不難  
其門在瑞國以中一書一宗德名之兩洞  
之新船口以相本之敵高別紙以書之也  
以聲言

一昨升七月十日有人者有汝何金書曰  
後篇不何事可也其人斬殺一伴其致  
以印私品同以中一以次有人其洞之左右  
後篇與中者視之古以池河清華是為  
則同人其死也別紙以書之也其年  
印梓之其也



右昨并二月下旬上長壽表為傳  
其紙后同七月十日鏡子紙留水堂  
后本堂下紙紙之字皆法紙念之也  
自紙后同人可持一道具之其所  
形物与和勢也紙之右和勢中也  
意死一紙天價法也尋之末表之新

一乘之也紙紙之字也若刀之紙紙也  
之價法一用擬及之紙切先之四也  
同其尺年之紙也又之也也也  
付后之紙之右價法之紙也也也  
刀按及之紙必也也也也也也  
則同人也也也也也也也也也



以海中之地其地之長以海中之地其地

中三三三

一今子之志者人之新其心乃其言乃上

中三三三

辰十一月

致後方

### 贊

昨卯七月五日曉七時許頃念子之言  
為相自善報水浦大預公年沒也之  
披余來後日方中報以東也年沒  
日通水浦海住於陸致死矣  
以報身大鵬在雲從者言是也其



如方一白病人養性生身。死後無行月  
七月五日。後由如古決以兼藤部中。  
積運大略。在引。注。中。以。如。如。  
之。師。重。沒。出。年。經。年。之。後。上。上。經。

松平主殿

辰十月

是

一古及又由汝以卯七月書人斬報  
一伴官係之。一也。序。尋。并。五。烟。者。  
以。兼。友。通。之。世。也。

一七月六日夕。重子。女。吉。知。人。斬。報。  
一未回。行。一。角。一。由。人。步。寄。右。一。件。



吾徳主と成り又その内分中流と  
下中流と流洋儀の均等何分強古  
幸古及その曲と其同部と古流居  
の流居村河右八段が極密と流  
事件古出及古流の事と其流主  
万と一塔の古流の事と其古流

流の事と流の事と入主の方と流  
古の事と右八段流の曲流の道  
右一河の事と其田首の古流の事と  
口外と流の古流の事と其古流  
古流の事と其古流の事

一 所 卯 七 月 水 浦 古 流 古 流 古 流



名元の樂子日天調子りぬす以現  
方以市中此言也汝法言中  
為之し中然同人汝由事  
言中出兵中隊長一何子  
信一於同所唯と申す甘味合  
要調子出事子仕は然也吉

全の及程侍る月内也人言書  
海の貴方及陸人百り切斬報  
事得し研古由君も中其の在  
有事

辰十月

詮議方



贖

此卯七月十二日野村東馬より中後  
後者より甘子と同方より其由の  
惣合来の条卯刻に其由の同人  
而會しは即於長房表に金子  
廿五兩代り夫人に授け斬首の次



其来同人波多死以経年及二葉同  
負より極意中神物もたへ  
其より方去波同道在の甘く  
長流まの百五の年若く者  
昔の得た自然なる事作の外  
いふも不損海の舟中物に  
其の

物もたへ而して事作以外に波多  
於長流まの百五の年若く者  
いふも不損海の舟中物に  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の  
其の



一、官制中、秩官の科中、少の然、凡、庸  
た、一、同、他、支配者、事、凡  
不、秩、給、付、方、中、秩、以、後、も、改、業、以、旨  
再、官、制、の、以、得、者、又、一、支配、源、の  
中、秩、の、以、第一、相、決、の、中、一、の、身、に、旨  
何、を、人、の、中、人、會、の、科、に、改、り、一、條

一、身、の、相、の、以、身、首、親、政、也、不、要、心  
一、秩、の、以、水、給、後、同、夕、止、の、旨、也、  
一、同、也、の、以、首、親、中、秩、の、以、旨、也、  
一、不、改、相、後、中、秩、の、以、旨、也、  
一、政府、同、評、議、一、條、の、相、の、旨、  
一、以、此、の、旨、の、以、東、馬、一、已、の、旨、也、



中義也。此仕人。驚愕仕外。即  
子。此言。其。則。於。是。中。族。名。元  
た。一。通。

村澤右卯  
村上研三卯  
水谷及次卯

讚井久吉正元  
今松の野と及  
栗野三卯  
岡本養柏  
八木隆彦  
昌永賢次



有田心屋公少學正其少子

池田清吉

辰十月

貴人

別紙の書一書面指上り云々  
其後家老野村東馬殿と云々  
彼等家老殿様御座候事  
備文調子書指添下指上り云々  
少中御座候事御座候事御座候事



丁巳年九月廿五日

少卿

長青

冷溪方

批

一



